

様式第2号（第5条関係）

令和3年12月29日

出張報告書

栗山町議会議長 鵜川和彦様

栗山町議会議員

土井 道子



このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 令和3年11月11日～12日
- 2 研修場所 東京都豊島区池袋 アットビジネスセンター池袋駅前別館
- 3 目 的 「上下水道事業の現状と課題」
～安定的な地方公営企業の経営を目指して～
の受講
- 4 書 類 別紙のとおり



状と課題

～安定的な地方公営企業の経営を目指して～

同時開催！
オンラインセミナー

14:00~17:00 ■■■■□■■■■■■■■■■

地方公営企業の改革

1. 地方公営企業の経営分析
2. 地方公営企業の経営戦略
3. 広域化・広域連携の事例
4. 官民連携の事例
5. 地方公営企業改革を
評価する視点

2006年、早稲田大学大学院政治学研究科博士後期課程単位取得退学、修士（政治学）。札幌大学法学部専任講師、准教授、教授を経て、2018年から現職。専門は行政学。主な論文に、「これからの地方公営企業はどのように位置づけられるか」（『都市問題』第110巻第10号、2019年）など多数。

(株)地方議会総合研究所

お申込みはホームページからお願いいたします。

議会総研

検索

※ホームページからお申込みいただけない場合は、
下記FAX申込書にご記入の上、事務局宛にお送り下さい。

<https://www.gikaisoken.jp>

参加希望講座のチェックボックスに
☒ をお願いいたします。

FAX 申込書 ➡ 03-6912-2280

フリガナ	ド イ ミ ヲ
お名前	土井 道子
貴議会名	栗山町議会
領収書 お宛名	
ご住所	(〒)
TEL	() -
FAX	() -
E-mail	@



11月12日(金) 10:00 ~ 13:00 東京

上下水道事業の
あり方



11月12日(金) 14:00 ~ 17:00 東京

地方公営企業の
改革

※オンラインによる受講をご希望される方は、
チェックボックスに☒ をお願いいたします。

☐ オンライン受講

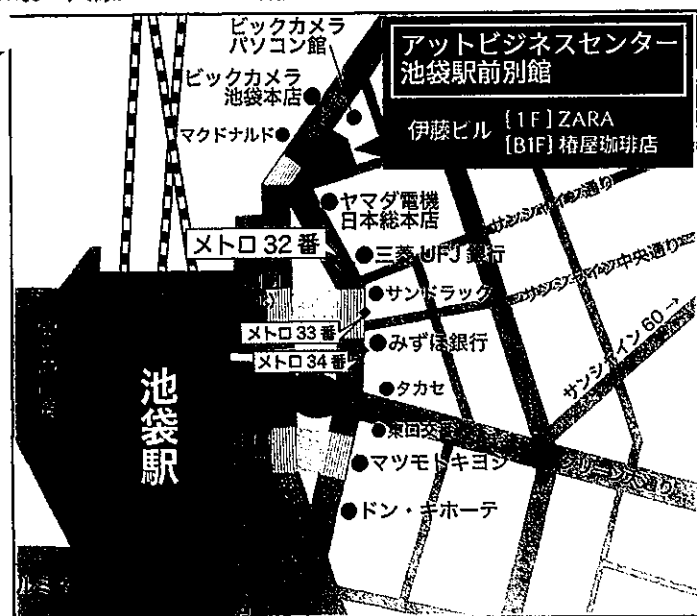
※オンライン受講ご希望の方は必ず Email をご記入ください。

★キャンセルは 7 日前までにメールまたは FAX にてご連絡ください。

※お申込み後、事務局から受講確認書をメールまたは FAX にてご送付させていただきます。

※受講確認書をご覧いただき、受講料は事前にお振込みをお願いいたします。

※お一人様につき 1 つの講座の申し込みが必要です。1 つの講座の申し込みで複数人が視聴することはできません。



受講料

各講座受講 15,000 円 (税込)

2 講座受講 25,000 円 (税込)

開催場所

アットビジネスセンター池袋駅前別館

JR 山手線、埼京線、東武東上線、西武池袋線

地下鉄丸の内線/有楽町線/副都心線

池袋駅東口地下鉄 32 番出口 徒歩 10 秒

お問い合わせ・事務局

※各会場の詳細地図は、当研究所ホームページのセミナー会場に掲載しておりますのでご覧ください。

(株)地方議会総合研究所

112-0011 東京都文京区千石 2-34-6

<https://www.gikaisoken.jp>

TEL 03-6912-1930 FAX 03-6912-2280

研修名	「上下水道事業の現状と課題」 ～安定的な地方公営企業の経営を目指して～
期 日	令和3年11月12日 1日間
会 場	東京都豊島区池袋 アットビジネスセンター池袋駅前別館
講 師	横浜市立大学教授 宇野二郎 氏
内 容	●上下水道事業のあり方 ・水道事業には、特定の出資者としての株主は存在しない ・当該事業を経営する地方公共団体を構成する全市民が、水道サービスがどうであるか、水道施設が如何に維持されているかが関心ごとである ●地方公営企業の改革 ・公営企業が住民生活に密着したサービスの提供を安定的に継続する事は、地方公共団体にとって重要な課題である ・近年、サービスの提供に必要な施設等の老朽化に伴う更新事業、防災・防災対策事業の実施にともなう投資の増大、人口減による料金の減少などが進みつつあり、経営環境は厳しさを増している ・事業に意義、必要性がないと判断された時は、速やかに廃止等を行うべきである ・資産の現状の適正な把握、投資資金の期間配分の算定による料金対象原価の適正把握も可能となる ・施設、設備の実情を適切に把握し、規模、能力、老朽化・劣化の状況や使用可能年数などについて分析する ・施設・整備の新規・更新需要額等の将来資産を行うこと ・将来試算は可能な限り、長期間（30～50年）であることが望ましい
感 想	今回 栗山町議会から4人が参加した。当町でも上下水道事業は、他自治体から移住して来た住民から高額と感じられていることが指摘されていたので、どのように取り組めば良いのかその一端を汲み取るために聴講した。 以前、下水道についての研修で、水道関連の道職員が多勢いた会場で講師から、北海道栗山町は、水道料金の高額自治体で10本の指に入ると指摘された事が心にあった。 栗山町の現状を知り、将来に向かってどのように取り組む事が住民、農業者などの企業家にとって最善策となるか、今後も目を向けていかなければと感じた講習になったと思った。